

■ シニアリーグ ■ 川崎中央シニア(神奈川)

「引き出す」指導で選手もコーチもしっかり育成

長期休み以外で、全体練習を行うのは土、日曜、祝日だけ。「ウチは学業優先。また、中学校で部活動に入るように言っています。陸上やびじの使い方が似ているバドミントンなどを選ぶ選手が多いですね」と沢田監督。リーグでも屈指の部員数を誇るため、練習日は自分の意思を強く持つことも大切だ。「ノックでは1球でも多く捕ること。打撃では1回でも多く振ること。これが将来、自分に返ってきます」。大会中でも基本的に全員が同じように練習するので、ノックを打つコーチたちは大変だが、子供の成長を願ってバットを振り続けている。

沢田監督の指導方針は「引き出す」だ。例えば、選手たちには後輩の面倒を見るように心がけさせている。教えることで分かることはたくさんある。ときには選手自身にノックを打たせることも。ノックバットでは、なかなか芯に当てるのが難しい。思ったコースに打つのはさらに難しい。では、どうするのか。指揮官は巧みな話術で選手の考える力を鍛える。若いコーチ陣に対しても同



じ。最初は一生懸命過ぎて、選手に先回りして答を教えてしまうこともあるが、そうならないように導き、育てている。

チームの「名物」の一つに「馬場塾」がある。

特別コーチ2人が引退した最上級生うち希望者を週1度、高校入学までみっちり鍛え上げて送り出すシステム。耐え抜けば、高校野球でスタートダッシュをかけられると好評だ。

TEAM DATA

①2000年 ②大岡貴志(49) ③沢田健一(49)=富山商出身。学童野球の指導からスタートし、チーム創設時からのスタッフ。04年に監督就任 ④105人(3年34人、2年33人、1年38人) ⑤なし ⑥土、日曜、祝日の午前8時から日没まで。川崎市の上平間球場ほかで。コーチ16人 ⑦春の全国1度、夏は3度出場。15年ジャイアンツ杯出場。DeNAベイスターズ杯3位 ⑧遠藤一星(中日)、田中正義(創価大) ⑨山崎事務局長 Tel.090(7402)5047。HPからも問い合わせ可能